

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度第4回所沢市上下水道事業運営審議会
開 催 日 時	令和6年1月12日(金) 午前10時00分から午前11時45分まで
開 催 場 所	上下水道局庁舎3階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	越阪部 眞、小澤 峰子、金子 修三、北野 大、小西 綾子、 永井 儀男、西村めぐみ、本田 静香(50音順)
欠 席 者 の 氏 名	
説 明 者 の 職 ・ 氏 名	上下水道局下水道整備課 主査 田村 真一 上下水道局経営課 主任 水原 史貴
議 題	(1)今後の市街化調整区域の下水道整備方針について (2)令和4年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について (3)「令和4年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について (答申)」案の確認について (4)その他
会 議 資 料	資料1 今後の市街化調整区域の下水道整備の方針について 資料2 令和4年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について 資料3 令和4年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について (答申)案
担 当 部 課 名	上下水道局長 磯 稔 上下水道局次長 根岸 清 上下水道局給水管理担当参事 村田 孝之 上下水道局総務課長 山下 哲 上下水道局経営課長 草薨 秀夫 上下水道局窓口サービス課長 粕谷 明彦 上下水道局水道建設課長 古澤 祐晴 上下水道局下水道整備課長 村上 和雄 上下水道局下水道維持課長 坂野 浩明 上下水道局下水道整備課主査 田村 真一 上下水道局下水道整備課主任 湯本 裕樹  (事務局) 上下水道局経営課副主幹 田井 浩介 上下水道局経営課主査 越阪部 那佳子 上下水道局経営課主任 水原 史貴 上下水道局経営課主事 久保 未来音 上下水道局経営課主事 中村 桃子  電話 04(2921)1087

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1. 開会（事務局により進行）</p> <p>2. あいさつ・確認事項（事務局により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会あいさつ（会長）</li> <li>・会議資料の確認</li> <li>・出席状況の確認・会議の成立の報告</li> </ul> <p>3. 議事の手続き（会長により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴者の確認（1名）</li> </ul> <p>4. 議事（会長により進行）</p>
会長	<p>議事（1）について説明していただきたい。</p>
下水道整備課主査	<p>（資料1に基づき、市街化調整区域の次期下水道整備計画について説明。） ここまでの内容について、ご意見等をいただきたい。</p>
会長	<p>ただ今の説明は前回の振り返りと、今後の市街化調整区域の下水道整備については、資料1の内容で進めたいとのことであった。まずは内容について委員の皆様へ質問が無いか伺い、その後市側から説明があった方針でいいのか審議していきたい。</p>
委員	<p>資料の9ページの内容について確認をしたい。整備順が前後する可能性があるかと記載があるが、前期と後期に跨って順番が前後するという意味なのか、前期の枠の中、後期の枠の中それぞれで前後するという意味なのか教えていただきたい。</p>
下水道整備課主査	<p>前期・後期の振り分けについては、資料のとおりで考えているが、下流から整備する必要があることや、特定の地域に偏って整備を進めていくことが無いようにすること等、工事の施工の都合上で、前期・後期の枠内だけではなく、前期と後期に跨って順番を前後させる可能性がある。</p>
下水道整備課長	<p>1点補足であるが、工事場所の平準化については、特定の地区に工事が集中してしまうと、その間しばらく、周辺で交通渋滞を引き起こす可能性もあることから、このような記載をさせていただいている。</p>
委員	<p>原則下流から整備していくというのはどういうことなのか伺いたい。</p>

下水道整備課長	下水道は下流側に埼玉県流域下水道の幹線があるため、上流側だけ整備をしても、幹線に接続する管路が未整備だった場合は流れ先が無いため、原則下流側から整備をしている。
会長	今回の審議すべき点は、アンケートの結果、接続要望率が高い順に整備順を決めているという前期と後期の振り分けだと考えているが、委員の皆様はいかがか？  (一同異議なし)
会長	これにて議題1は終了とする。続いて、議題2について、事務局から説明をお願いしたい。
経営課主任	(資料2の(1)主要事業(12ページまで)について説明)
委員	(以下、質疑応答) 自主財源確保促進事業以外の財源はどのようなものがあるのか？
経営課長	公営企業の収入としては、下水道使用料や国からの補助金等が主な財源である。
委員	外水道用栓とはどのようなものか？
窓口サービス課長	外水道用栓とは、例えば戸建住宅等に庭にある手洗いをするような水道の水受けには、污水管に繋がる排水口があるが、通常何もしていないと雨天時に雨水が污水管に入っていくと思われる。それを防ぐため、使用していない時は、雨天時に雨水が流入しないよう、排水口を塞ぐゴム栓を配布している。
委員	マンホール蓋広告について、令和2年度以降の設置数が伸び悩んでいるようだが、原因はどのようなものが考えられているのか？
経営課長	マンホール蓋広告事業は、全国的には取り組みが少ない事例であり、比較が難しいところである。最近是他市からの視察が増加しており、今後取り組む自治体は増えていくものと考えている。ご質問の設置数の増減については、当初はメディア等での露出もあり、注目を浴びたことから数が増えたものであるが、その後コロナ禍になり、広告主においても苦しい経営状況であったことから、広告の契約満了を機に止められたことで数が減少した。また、広告主から、広告費が高いのではないかというご意見もあったことから、今年度制度の見直しを実施、料金の値下げを行った。値下げについては、他の類似広告である消火栓広告や電柱広告

	<p>などの費用を参考にしたり、駅の乗降客数等を参考にしたりして、設置箇所によって広告料に差を設け、新たな広告主の獲得、既存の広告主の維持をしていきたいと考えている。</p>
委員	<p>マンホールカード等の媒体を活用した事業にはできないのか？</p>
経営課長	<p>マンホールカードは下水道広報プラットフォームという団体の所管であり、取り決めの中で金銭を目的としたような取り扱いは禁じられているところである。そのため、自主財源の確保に直接繋がるわけではないが、マンホールカードやマンホール蓋広告を活用し、市内の回遊をしていただくことを目的とした取組については検討していきたい。</p>
委員	<p>下水道ストックマネジメント事業について、計画に対する事業の進捗状況は順調であることは認識できた。一方で、この先の部分にはなるが、経営状況の管渠老朽化率は類似団体を上回っている。この関係性についてはどのように考えているのか？</p>
経営課長	<p>要因は2つあると考えている。1つ目の要因は、当市の市街地における下水道が、他の自治体と比較すると早く整備されており、管渠老朽化率は耐用年数を超過している管渠の割合が示されることから、当市の数値は高くなっているものと考えられる。2つ目の要因は、当市における下水道事業の進め方として、市街化調整区域の下水道整備や、地震や大雨等の災害対策を重点的に実施しているところである。しかし、令和7年度以降は、老朽化対策の事業量の増加を予定しており、他自治体との差は縮まっていくものと考えている。</p>
上下水道局長	<p>補足になるが、ストックマネジメント事業については、カメラ調査を実施し、硫化水素等で腐食が進んでいる箇所や、破損している箇所等、不具合が生じている箇所を修繕しているものである。調査の結果、問題ないと判断できた場合は、修繕を実施せずそのまま使用を続けるため、全ての管渠を更新するわけではない。ストックマネジメントは最小の経費で、不具合なく使用し続けられる状態を維持していく考え方のため、必ずしも他の自治体との老朽化率の差は縮まるとは限らないものである。</p>
委員	<p>道路に雨水枡はたくさんあると思うが、落ち葉等が詰まっていないか等の点検は実施しているのか？</p>
下水道維持課長	<p>道路の雨水枡の維持管理については道路維持課にて行っており、上下水道局で常時点検をしているわけではないが、台風や大雨等が予測されていた場合には、担当課と連携を図り、巡回の際に点検をするようにしている。</p>

	(質疑応答ここまで)
会長	続いて、(2) 経営状況について説明をお願いしたい。
経営課主任	(資料2の(2) 経営状況(13ページ以降)について説明)
委員	(以下、質疑応答) 経費回収率を求めるための数値は、経常収支比率を求めるための数値の一部という認識でよろしいか？
経営課長	ご認識のとおり、経費回収率は経常収支比率の一部を切り取った指標である。経費回収率は、汚水処理に係る費用に対し皆様から頂いた下水道使用料で賄えているかを示した指標であり、経常収支比率は下水道使用料だけではなく、営業外収入等も含めた全体の収支を示した指標であるため、数値に差が生じているものである。
委員	経常収支比率の説明の中で赤字補填とあるが、下水道使用料収入が不足しているということなのか？
経営課長	下水道使用料の改定を平成30年度に実施した際、政策的な判断もあり、経費回収率が100%にならないような使用料改定率を設定した。そのため、その不足分について一般会計から繰り入れをすることで当時決定があったものである。しかし、実際には100%に近い数字が出ていることから、当局の経営努力の結果と考えている。そのような状況であるため、今後は一般会計からの繰入を減少させて、自立した経営ができるよう改善していきたいと考えている。
委員	所沢市の人口減少は、まだ緩やかであると認識しているが、人口が減少すれば使用料収入も減少し、今後の財政状況は厳しくなるものと考えている。そのため、人口減少が始まる前に先行して企業債を発行することで、更新投資に係る財源を確保した方が良いのではないかと。人口減少によって、使用料収入が減ってくると、企業債の返還に充てる財源の確保も厳しくなることから、現在の世代から回収をしていく方が得策ではないか。
経営課長	近年は企業債の金利が低かったこともあり、企業債に頼った事業展開をしてきた経緯もある。しかし、ここで金利の上昇も見込まれており、現在の状況を継続していけるのか不安なところである。また、経費回収率について、人口は維持できているものの、水の需要減少に伴い、使用料収入も減少している傾向にある。今後も経営努力はし続けたとしても、経費回収率は100%を下回っていく可能性があると考えている。一方

	<p>で、流動比率に示されているとおり、下水道事業については一定の内部留保資金は確保できており、今後は収支の資金のバランスを鑑みながら、使用料改定について検討していきたいと考えている。</p>
会長	<p>最後に20ページの全体総括について、答申内容に関わるものであるため確認し、審議したい。</p>
委員	<p>「下水道使用料のあり方」という表現は値上げするという意味か？</p>
経営課長	<p>「あり方」というのは「改定」という意味であるが、現在の状況を考慮すると「値上げ」しか見込んでいない。このような表現で周知をしていきたいと考えているところである。</p>
会長	<p>他に質問が無ければ、全体総括についてこの内容でよろしいか。</p> <p>(一同了承)</p>
会長	<p>これにて議題2は終了とする。続いて、議題3のその他について、事務局から説明をお願いしたい。</p>
経営課長	<p>本日は、まだ会議時間に余裕があるため、議題を追加させていただきたい。前回と今回審議いただいた令和4年度所沢市上下水道局施策事業について、次回答申をいただく予定であるが、前回の水道事業の審議内容を取りまとめ、事務局にて答申案を作成したので、ご審議いただきたいと考えているがいかがか？</p>
会長	<p>会議の時間があるため、議題の追加について了承した。</p> <p>(事務局にて、資料3を配布)</p>
経営課主任	<p>(資料3に基づき、前回の審議の振り返りと答申案について説明)</p>
委員	<p>水道事業の経営状況については概ね良好であると評価がある一方で、附帯意見として経営指標が悪化しているとあるが、表現が正反対に感じる。確かに今後料金改定の議論はしていかなければならないが、良い表現方法は無いか？</p>
経営課長	<p>事務局の見解としては、令和4年度時点での経営指標の数値は、国が定める基準をクリアしており良好である。しかし、過去の推移を見てみると下降線を描いているため、今後もこの傾向が続くのであれば、経営状況が悪化していくものと考えている。経営計画で、令和8年度に料金改</p>

	<p>定が見込まれていることもあり、それに向け布石を打つような答申案とさせていただきます。また、附帯意見として書いている内容を、答申内容とすることも選択肢としてあると思うので、それについてもご審議いただきたい。</p>
委員	<p>それでは、「所沢市水道事業経営計画に関わる主要な4つの施策事業の進捗状況及び経営状況について審議を行った結果、令和4年度においては概ね良好であるものと認めますが、今後の社会情勢を考え、以下のとおり意見を付します。」という表現にしてはいかがか？現在の状況は良いが、今後悪くなっていく可能性があるということを示せると思う。次回は下水道事業も同じような進め方をして、答申内容を確認していくことで良いか？</p>
経営課長	<p>次回は、本日も審議いただいた今後の市街化調整区域の下水道整備方針と令和4年度所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について、答申案の確認及び答申をいただきたいと考えている。施策事業の進捗状況については、本日も審議いただいた下水道事業と水道事業の答申案に対していただいたご意見を踏まえ、両事業のバランスを見ながら答申いただく内容を固めていきたい。</p>
会長	<p>それでは本日審議した内容を踏まえた答申案を次回示してしてほしい。予定していた議題は以上であるが、事務局から連絡事項等はあるか？</p>
経営課長	<p>次回の審議会の日程について、事前に委員の皆様とは調整をさせていただいたが、令和6年2月7日（水）の午前10時から開催する。</p>
会長	<p>予定した議事は以上となり、本日の議題は全て終了したので、進行を事務局にお返しする。</p>
委員	<p>5. 閉会（事務局により進行）</p> <p>閉会挨拶</p>